令和8年8月1日発行　No.130

おおま議会だより

大間地区
大漁祈願祭　7月20日

主な内容　6月定例会

P2～3　6月定例会・第1回臨時会
P4　一般質問
P5　全員協議会
P6　特別委員会・議会のうごき①
P7　議会のできごと①・議会のうごき②
P8　議会のできごと②・編集後記

【発行】青森県大間町議会　【編集】議会広報編集委員会
〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4　電話 0175－37－3029

第2回 6月定例会

令和8年第2回定例会を6月5日に開会し、6月10日に閉会しました。
本議会に提案された議案8件はすべて原案とおり承認、可決、同意しました。

令和8年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ3，662万円を追加し、歳入歳出予算の総額を52億2，427万円とした。

歳入の主なるもの

国庫支出金

○国庫補助金で、デジタル基盤改革支援補助金264万円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金4，311万円をそれぞれ計上し、防災・安全交付金5，145万円、社会資本整備総合交付金209万円をそれぞれ減額計上。

県支出金

○県補助金で、スポーツ振興費補助金1，535万円を追加計上。

諸収入

○雑入で、原子力発電所対策諸費用326万円を追加計上。

町債

○起債対象事業費の精査に伴い公営住宅建設事業債2，560万円を追加計上。

歳出の主なるもの

総務費

○総務管理費の物価高騰対応重点支援事業費で、大間町物価高騰生活者支援地域振興商品券4，182万円を計上。
○戸籍住民基本台帳費で、戸籍情報附票システム標準化移行業務委託料264万円を計上。

労働費

○勤労青少年ホーム費で、清掃管理委託料233万円を減額計上。

商工費

○観光費で、広告作成及び掲載業務委託料212万円を追加計上。

教育費

○小学校費の学校管理費で、大間小学校暖房設備修繕工事271万円を計上。
○社会教育費の公民館費で、エアコン設置工事102万円を計上。
○保健体育費の保健体育総務費で、清掃管理委託料283万円を減額計上。

予備費

○これら財源調整いたしまして394万円を減額計上。

水道事業会計

○職員の人件費精査に伴う補正であり、収益的収入及び支出の営業費用43万円、特別損失16万円を追加計上し、収益的支出の総額を1億9，806万円とした。
※議会の議決を経なければ流用することのできない経費の職員給与費で43万円を追加計上。

下水道事業会計

○職員の人件費精査に伴う補正であり、収益的収入及び支出の営業費用5万円を減額計上、特別損失2万円を追加計上し、収益的支出の総額を2億1，673万円とした。
※議会の議決を経なければ流用することのできない経費の職員給与費で4万円を減額計上。

財産の取得

クリーンセンター塵芥車購入（4台）

○契約方法
指名競争入札
○契約金額
5，451万3，920円
○契約相手
・青森県むつ市大曲3丁目41番地
・いすゞ自動車東北株式会社青森支社むつ支店
支店長　木村健一

専決処分

報告

○戸籍附票システム改修（附票旧氏記載機能）業務委託料、住民記録システム改修（氏名の振り仮名法制化対応）業務委託料、大間崎分電盤改修事業、洪水ハザードマップ作成業務委託料に係る歳入歳出予算の経費を令和８年度に繰越。

○下水道管路点検調査業務委託料に係る収入及び支出の予算の経費を令和８年度に繰越。

承認

○地方税法等の一部を改正する法律が令和８年３月31日に公布され、同年４月１日から施行されたことに伴い、大間町税条例の一部を改正。

○地方税法等の一部を改正する法律が令和８年３月31日に公布され、同年４月１日から施行されたことに伴い、大間町国民健康保険税条例の一部を改正。

○地方交付税、地方消費税交付金等の確定及び財源調整の予算措置。

議員発議

○議会に係る手続きのオンライン化に対応した改正を行うとともに、委員選任に関する規定の見直しを目的とし、地方自治法第百十二条及び大間町議会会議規則第十四条第一項及び第二項の規定に基づき、大間町議会委員会条例の一部を改正。

農業委員会委員

任命

㊎…新任　㊌…再任

紀國　昭弘　氏　㊌

松原　俊逸　氏　㊎

岩泉　盛利　氏　㊌

坂本　春彦　氏　㊎

田中　慶子　氏　㊌

岩佐　育夫　氏　㊎

佐々木　陽治郎　氏　㊌

第1回臨時会

専決処分

承認

一般会計補正予算

○歳入歳出それぞれ４８１万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ52億２，９０９万円とした。

※大間町物価高騰生活者支援地域振興商品券及び財源調整の予算措置。

水道事業会計補正予算

○「奥戸橋水管橋架替工事実施設計業務委託」において、当初想定されなかった橋梁構造計算を追加実施する必要が生じたことに伴い、建設改良費５４１万円を追加計上し、資本的支出の総額を２億４，０３３万円とした。

※増額分は、当年度消費税資本的収支調整額及び利益剰余金にて補填。

財産の取得

学校給食配送車両購入（２台）

○契約方法
指名競争入札

○契約金額
２，１９９万９４円

○契約相手
・青森県むつ市大曲３丁目41番地
・いすゞ自動車東北株式会社
青森支社むつ支店
支店長　木村健一

国勢調査速報値５年間で627人減少

減少対策は？10年後20年後の大間町はどうなる？

堺　祐介 議員

質問時間　45分

国勢調査について

国勢調査人口速報集計結果が公表された。

この結果について、どう思うか町長にお伺いいたします。

町長答弁

国勢調査の速報値が公表されましたが、大間町の人口は、4，091人と5年前の調査より627人減少しており大変驚いた。

青森県そして全国的に減少傾向に歯止めがかからない状況であるが、県内で唯一人口が増加した六ヶ所村を見れば、人口増加の要因は、原子力関連施設に関わる就業の場があることだと考えている。

大間町も人口減少は進んでいるが、今後の大間原発の工事再開、本稼働がいよいよ見えてくる段階になってきておりますので、他の地域よりは希望が持てるのではと感じている。

また、大間町の出生数は、子宝祝い金を始めた令和４年度は31人、その後は、20人前後で推移している。一定程度の出生数があるので、課題として見えてくるのは、働く場の確保だと思う。

大間原発関連で働く場が出てくることが、定住や人口増加につながるのではと期待している。

再質問

原子力施設に係る就業の場、特に住民が働く場は増えていくのか。

町長答弁

Ｊパワー関連施設がたくさんある。

さらに地元の商工会関係で新しい企業ができれば。

例えば、飲食店とかそういうのは増えるんじゃないかなと私は思っています。

再

企業に関しては、こちらからお願いして来てくれる企業、雇われ雇いの関係もあるので一概に町長がこうしますっていうのは難しいことだが、やはり声掛けの努力はしていかなければならないと思っているので、是非ともそういう面でも働く場を作ってもらいたい。

人口減少対策について

野﨑町長就任以降に取り組んだ人口減少対策と成果は？

町長答弁

就任時はコロナ禍もあり思い通りの施策が進めることができませんでした。

その中で、令和４年度から子宝祝い金の支給を開始、その後も入学祝い金、小学校・中学校・高校と拡充してきた。

また、小・中学校の修学旅行の助成を実施し、親の負担軽減に努めてまいりました。

また、令和６年度から高校生までの医療費無償化、令和７年度から０才・１歳児の保育料無償化を実施いたしました。

その成果はすぐに出るものではありませんが、出生数が大きく下がることなく推移しているため、効果が表れているものと感じている。

再質問

高齢者の方に対しての政策は？

町長答弁

医療施設が十分じゃないと駄目だと思っています。そういう意味では、北通りの医療は、へき地医療に特化しているが、医療関係が充実しないと高齢者の長生きはできないと考える。

健康面でもスマイリーができたおかげで包括支援センターで高齢者の体操も毎週やっており、かなり好評だと聞いている。

再質問

小児科や婦人科が近くにない。出産体制も環境も厳しい状況、その中で子育てしてくださいっていうのも難しい状況だと思う。

医療面の打開策は？

町長答弁

子どもを診る先生がいないっていうのは、それは呼んでもなかなか来ません。

そういう意味では、これからどうやって小児科っていうか、（医者を）呼ぶかっていうのは今後の私の課題だと思う。

再質問

病院の施設自体老朽化してきている、今後どういうことをお考えなのか。

町長答弁

かなり老朽化している。建て替えとかそういうのも計画的にやらなきゃいけないという気持ちはある。

できれば原発が運開したら建てるみたいな形にしたいなと思っています。

全員協議会

〔令和8年5月29日〕

報告

一、(仮称)大間町学校給食センター事業費試算の資料提供について

担当課(教育委員会)より、次のとおり報告があった。

・令和8年度及び9年度の建設事業費

①**エネ防補助金**を予定

(正式名称：災害時に備えた社会的重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金(経済産業省資源エネルギー庁)

※町健康福祉センター「スマイリー」を参考に6割補助程度。

※その他財源は、現時点では金額を確定できないため、補助金以外はすべて町一般財源で考えている。

※給食センターは3町村での広域的な施設及び防災機能を備えた施設であるため、できるだけ町一般財源が少なくなるよう関係機関と協議していく。

・運営費(試算)

①年間約1億9,000万円程度

※調理能力が同規模の横浜町を参考

②令和10年度以降からは1年間の稼働となり、年間のうち両村からの負担金及び県学校給食費無償化補助金を充当し、町一般財源で毎年約5,500万円程度の運営費負担となっていくことが見込まれる。

(仮称)大間町学校給食センター
完成イメージ図

案件

一、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用する事業について

町長及び担当課(企画経営課・産業振興課)より、次のとおり説明があった。

・提案理由

本年2月に地域振興商品券配布事業を実施したが、配分された交付金の枠が残されており、今般のイラン情勢に伴いホルムズ海峡の閉鎖の影響等で物価高騰が懸念されることから、8月から9月にかけて、再度、商品券を配布するものである。

・事業の概要

①基準日

令和8年6月1日

②配布数

1世帯1万7,000円(専用券が1万2,000円、共通券が5,000円)

※これまでの商品券と同様7対3の割合

③郵送予定日

令和8年7月中旬

④利用期間

令和8年8月1日～9月11日まで

※例年、商工会が実施しているプレミアム商品券については、実施する時期を調整していただいている。

・事業費

4,389万4,244円。

※予算については、第2回(6月)定例会の補正予算で対応予定

【全議員異議なし】

※事業概要を一部修正(令和8年6月10日)

・修正理由

令和8年6月5日に国の補正予算が成立したことに伴い、重点支援地方交付金の交付が示されたが、各事業に取り組むだけの金額ではなかったこともあり、今回の交付額の範囲で、商品券の配布数を修正することとした。

・修正箇所

1世帯1万9,000円(専用券が1万3,000円、共通券が6,000円)

※これまでの商品券と同様7対3の割合

※配布数は変わるが、その他の事業概要に変更はない。

※予算については、専決処分で対応予定

【全議員異議なし】

〔令和8年7月10日〕

案件

一、大間町観光PR動画作成及び動画広告の提出について

担当課(産業振興課)より、次のとおり説明があった。

・提案理由

「フェリー函館～大間航路」の利用の促進と大間町観光促進の両方を兼ね備えた動画の作成を目的とするものである。

・函館山ロープウェイ館内での広告掲載の経緯

大間町観光誘客推進事業として、

①平成25年度から令和5年度まで、函館市ほか道南17町村8万世帯に対し、北海道新聞函館支社朝刊に「大間・下北特集」の折込みを進めてきた(年2回×50万6,000円／1回)。

②市民へのPRは概ね達成したと考え、令和6年度から(事業対象者を)県外及び海外の方にシフトし、その先駆けとして函館山ロープウェイ館内の看板及び電子ディスプレイ広告を行ってきた。

③現在まで函館山ロープウェイで掲載している電子ディスプレイ広告は、3枚の静止画を15秒間で切り替える動画を繰り返し流す形となっており、音声もなく日本語版のテロップであるため、海外の方への情報伝達には乏しい状況であると判断し、

新たに観光ＰＲ動画を作成及び掲載することにした。

・動画の構成について「フェリー函館～大間航路」の利用の促進と大間町観光促進の両方を兼ねた映像内容に、日本語音声のナレーションに加え、台湾語等の字幕も入れることで、日本人だけでなく海外の方にも宣伝効果が見込まれる。また、作成した動画は、大間町公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル動画をはじめ、あらゆる媒体で使用できる。

・事業費（すべて税込）
①動画作成費　79万2，000円
②動画広告の掲出料　132万円
③初期作業料　1万1，000円
※①～③合計　212万3，000円

※事業費については、動画作成費及び初期作業料の初期投資はかかるが、設置後は掲出料のみとなるため、年間約132万円程度と見込んでいる。

【全議員異議なし】

特別委員会

〔令和8年6月5日〕

（大間原子力発電所対策特別委員会）

案件

一、新規制基準適合性審査の対応状況について

・地震・津波の審査については、地質、地震動、津波及び火山事象の審査項目は概ね審議済み。残すは1項目、「地盤・斜面の安定性」は今後ヒアリング開始となっている。

・プラント施設の審査についても、審議済み項目が多くみられ、残りの項目も今後ヒアリング開始となっている。審査項目内には、審議継続中の項目もあり、早いペースで審議が行われている状況である。

2030年度の運転開始は厳しいとしても、早い時期に本格工事は着工されることも望むものである。

二、建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

・住民の訴訟について
函館市ほか住民ら（計1，041名）の控訴人から出されている訴訟は、札幌高等裁判所で行われており、本年5月19日に第18回口頭弁論が開催されているが、今後の予定は、第19回口頭弁論期日は7月21日、第20回が10月29日、第21回が12月29日に予定されている。

・函館市の訴訟について
函館市から出されている訴訟は、東京地方裁判所で行われており、本年3月9日に第36回口頭弁論が開催されているが、今後の予定は、第37回口頭弁論期日は7月7日、第38回が11月19日に予定されている。

住民及び函館市の訴訟については、これまでと同様の経緯であり、進展状況も大きくは変わらない。

議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。
多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。
6月定例会の傍聴者は37人でした。次の定例会は9月の予定です。
皆さんの傍聴をお待ちしております。（詳しくは議会事務局まで）

議会のうごき

（令和8年5月～令和8年7月）

5月

9日　大間町消防団定期観閲式
10日　むつ市消防団定期観閲式（むつ市・議長）
12日　青森県町村議会議長会理事・監事合同会議（青森市・議長）
13日～15日　令和8年度全国原子力発電所所在市町村協議会総会（東京都・議長及び事務局長）
15日　議会事務局職員研修会（青森市・事務局）
17日　佐井村消防団定期観閲式（佐井村・議長）
18日　青森県交通安全対策協議会表彰式（青森市・議長）
19日　下北郡町村議会議長会臨時総会（健康福祉センター「スマイリー」・議長及び事務局）
20日　町村議会広報研修会（青森市・議会広報編集委員会委員及び事務局）
21日　大間原子力発電所交通安全等対策協議会総会（総合開発センター・議長及び事務局長）
23日　大間原発三ヶ町村協議会（総合開発センター・正副議長及び大間原子力発電所対策特別委員会副委員長並びに事務局長）
奥戸小学校・奥戸地区・材木地区大運動会
24日　東通村消防団定期観閲式（東通村・議長）
25日～27日　全国町村議会議長会議長・副議長研修会（東京都・議長及び副議長並びに事務局長）
28日　例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
29日　議会議員全員協議会
31日　大間小学校運動会
風間浦村消防団定期観閲式（風間浦村・議長）

6月

3日　青森県町村議会議長会臨時総会（青森市・議長）
4日　議会運営委員会
5日　第2回大間町議会定例会開会

大間町議会の出来事

議員視察研修外　令和８年７月１日～３日(京都府・東京都)

1．舞鶴市行政視察…『舞鶴引揚記念館の概要』昭和20年（1945）、第二次世界大戦が終わったとき、海外に残された日本人は約660万人といわれており、これらの人々が日本へ帰って来たことを「引き揚げ」といわれています。舞鶴は政府が指定した引揚港の一つで戦後13年間にわたり引揚者を迎え入れ、その多くはシベリアに抑留された方でした。記念館は、引き揚げとシベリア抑留の忠実を後世に伝えるため、引き揚げてきた人々や全国の皆さんのご支援によって建設されました。～語り継ぐ引き揚げの歴史～平和の尊さを後世に伝えるための情報発信をしています。

議会では石戸議長外８名（事務局含む）を館内担当者の方が、激動の戦時下から終戦を迎えた引き揚げの様子を展示品を活用して説明くださいました。なかでも、シベリア抑留では強制連行された日本軍人・軍属はマイナス30度を下回る厳しい環境で強制労働を強いられたことや抑留中に紙の代わりに白樺の皮に和歌などを綴った日誌（白樺日誌＝世界記憶遺産登録資料）、引き揚げの母と岸壁の母に触れられた際は目頭が自然と熱くなりました。近年も世界各地での紛争で多くの犠牲報道があります。こんなときだから、一人一人が平和への尊い想いを大切にすることを改めて痛感させられました。今後の議会活動に寄与していきたいと思います。

2．電源開発㈱表敬訪問…6月25日株主総会および株主総会後の取締役会後の役員人事が決定されました。このことから、議会を代表して石戸議長が表敬訪問の挨拶を行いました。電源開発株式会社萩原副社長の歓迎の挨拶でも従前からの「共存共栄」のスタンスは今後とも重視して行きたいと力強い言葉がありました。

7月

1日～3日　議会議員視察研修（京都府舞鶴市行政施設の視察及び東京都電源開発㈱表敬訪問・議員及び事務局）
6日　令和8年度大間地区連合防犯協会定時総会（健康福祉センター「スマイリー」・議長）
8日　令和8年度大間地区暴力追放推進協議会定時総会（健康福祉センター「スマイリー」・議長）
8日　青森県町村議会議長会県下町村議会議員研修会（青森市・議員及び事務局）
9日　下北総合開発期成同盟会臨時総会（むつ市・議長）
10日　議会運営委員会
　　第1回大間町議会臨時会開会
　　議会議員全員協議会
　　議会広報編集委員会
12日～14日　大間原発三ヶ町村協議会国要望（東京都・議長及び事務局長）
16日　あいさつ運動（議長）
21日　夏の交通安全県民運動に伴う街頭活動（総合開発センター・議長）
　　夏の交通安全及び防犯パレード（奥戸・議長）
22日　議会広報編集委員会
22日～24日　全国原子力発電所立地市町村議会議長会定期総会（東京都・議長及び事務局長）
28日～31日　決算審査（宮野議会選出監査委員）
8日　大間原子力発電所対策特別委員会
　　総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会
9日　一般質問・議案審議
10日　議案審議
　　第2回大間町議会定例会閉会
　　議会広報編集委員会
17日　大間地域婦人会「父の日記念花束贈呈」（大間保育園・議長）
18日　あいさつ運動（議長）
29日　例月出納検査（宮野議会選出監査委員）
　　大間町交通安全対策協議会（役場行政棟・議長）

大間町議会の出来事

町村議会広報研修会　令和８年５月20日(青森市)

青森県町村議会議長会主催による、町村議会広報実務担当者研修会に議会広報編集委員会（堺委員長外）が出席しました。第１部では、議会の見える化＆住民との関係性―議会広報の基本と編集―と題し、講師の議会広報サポーター芳野政明氏の講義があり、①住民が議会と〝つながり〟実感へ「読まれ、伝わりつながる」議会広報の基本と編集を学びました。第２部では県内６町村の広報誌を基に広報クリニックを行いました。今年度は、当町議会の広報誌もクリニック対象で総評及び特徴並びに改善点について評価を頂きました。

広報編集委員会では、改善点に留意しながら伝わりやすい広報誌作成に引き続き取り組んで行きたいと思います。

県下町村議会議員研修　令和８年７月８日(青森市)

青森県町村議会議長会主催による、県下町村議会議員研修会に石戸議長外６名（事務局含む）が出席しました。ジャーナリスト・ニュースキャスターでコメンテーターの星浩氏を講師に「今後の政局・政治展望」のテーマで講演がありました。典範改正法案、衆院定数削減法案、副首都法案、国旗損壊法案など今国会での審議の行方や高市政権下での物価高騰対策や中東情勢などを様々な視点から、今後の日本政治を伺うことができました。また、メディアの情報提供も多様化し大きな変化が起きている中、情報の偏りも心配されることなども紹介されました。

当町議会においても政局や社会の動きに、より関心を持っていきたいものです。

大間原発三ケ町村協議会(北通り３町村)要望活動　令和8年7月13日(東京都)

大間原発三ケ町村協議会（会長野﨑大間町長）は、

① 国土交通省（上田英俊国土交通大臣政務官）に防災避難道路の整備促進について要望しました。

② 経済産業省（井野俊郎経済産業副大臣）に原子力発電所早期着工及び防災避難道路の整備促進について要望しました。

また、青森県選出国会議員（津島衆議院議員、江渡衆議院議員、木村衆議院議員、神田衆議院議員、田名部参議院議員、福士参議院議員）への要望活動を行いました。

＊当日の出席者

大間町（野﨑町長、石戸議長外）
風間浦村（冨岡村長、能登議長、北舘大間原子力発電所対策特別委員会委員長外）佐井村（太田村長、竹内修議長、竹内典和大間原子力発電所対策特別委員会委員長外）
※国土交通省には、青森県から鈴木県土整備部道路課長外

編集後記

本年１月の豊州市場初セリで大間マグロが過去最高値の５億１，０３０万円の値が付き、全国的にも「マグロの町」大間が更なる脚光を浴びたところでありますが、大間崎を訪れる観光客は口々に「大間というところは何もない『殺風景』なところですね。」という言葉が聞かれます。大間崎には休憩場所もなく、トイレがあるだけです。

数年前から計画のあった、「マグロ資料館」なるものは、いつになったら建立されるのか疑問視されます。大間町の観光について、もっと考えてほしいと期待するところです。

さて、８月に入れば夏祭り、お盆の時期に入り帰省者も多く地元に戻り、家族団らんのひと時も過ごすと思います。

また、普段会うことができない方と会うことも楽しみの一つではないでしょうか。

昨今の日本の経済状況にも、めげずに「エンジョイ」し、明日への活力を発散させましょう‼

記【吉田】

議会広報編集委員
委員長　堺　傳
副委員長　山崎法一
委員　佐々木信彦　安田正広　祐介